

学校名	府中町立府中北小学校
-----	------------

活動のテーマ	守ろう！大切な命
主な教科領域等	総合的な学習の時間
活動に参加した児童生徒数	第5学年60人
活動に携わった教員数	7人
活動に参加した地域住民・保護者等の人数	約30人 【 <input type="checkbox"/> 保護者 <input type="checkbox"/> 地域住民 <input type="checkbox"/> その他（ <input type="checkbox"/> ）】 ※児童生徒・教員以外で活動に参加する人の区分に丸をつけ、人数をお書きください。（複数可）
実践期間	西暦2019年4月8日 ～ 西暦2020年2月28日
想定する災害	※該当するものに丸をつけてください。複数可。 <input type="checkbox"/> 地震 <input type="checkbox"/> 津波 <input type="checkbox"/> 台風 <input type="checkbox"/> 洪水 <input type="checkbox"/> 河川氾濫 <input type="checkbox"/> 土砂 <input type="checkbox"/> その他 (<input type="checkbox"/>)

活動報告

1) 活動の目的・ねらい

★災害時を想定した炊き出し訓練の実施

- いざという時に助け合って（共助）避難生活を送ることができるように、地域の方と一緒に炊き出し訓練をする。
- 災害時でも自分達にできることについて考え命を守るための行動ができるようにする。

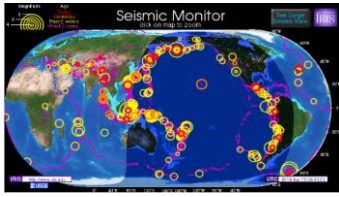
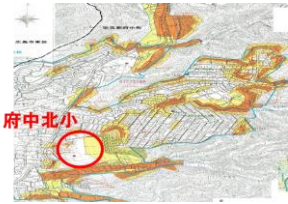






★防災フェスタの実施

- 1年間を通して学習してきたことの総まとめとして行う。
- 保護者や地域の方々を招き、自分達が学習してきたことを伝える。また、地域の方々と交流することで、共助の意識を高める。

2) 実践内容・実践の流れ・スケジュール



調べ学習（本やインターネットを活用して）

日付	活動	内容
4月	課題設定	<p>児童とともに、日本での災害の実際を知り、防災学習への意識付けを行った。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;"> <p>世界中の地震をリアルタイムで表したもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本は世界の国と比べても地震が多く発生する国なんだ。 ・いつどこで大きな地震が起きるか分からない。 </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;"> <p>府中北小学校近辺の土砂災害警戒区域・特別警戒区域を色付けて示したもの</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北小の周りには、警戒区域が広がっていて、自然災害の危険があるんだ。 ・実際に、西日本豪雨災害では、たくさんの被害が出たな。 </div> </div>
5月29日	防災教室 (東京海上日動)	<p>講師の方からの話を聞き、災害についての情報を集めた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;"> <p>講師の方からの話</p> <ul style="list-style-type: none"> ・広島県は、土砂災害の危険箇所が日本で一番多いんだ。 ・自分の命は自分で守ることが大切なんだ。 ・災害から身を守るため、私たちができることってなんだろう？ </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;"> <p>非常用持ち出し袋の中身を考える活動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どれくらいの量の食料を入れておけばいいだろう。 ・絶対に必要なものは何だろう。 ・家に帰って非常用持ち出し袋の中身を確認してみよう。 </div> </div>
7月11日	防災講座 (広島県庁砂防課)	<p>講師の方からの話を聞き、災害についての情報を集めた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;"> <p>土砂災害の模型</p> <ul style="list-style-type: none"> ・土砂災害がどんな風に起こるのか、どんな場所が危険なのか知ることができた。 ・北小周辺に危険な箇所はないかな？ ・去年起こった榎川の氾濫はこんな風に起こったんだ。 </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;"> <p>防災マップの作成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分たちの住んでいる地域で危険なところはどこだろう。 ・水路や山の斜面の近くは避難の時に避けた方が良さそうだね。 ・避難経路を想定しておく、いざという時すぐ行動にうつせるね。 </div> </div>
7月19日 ～22日	野外活動 (似島臨海少年自然の家)	<p>自然災害が起こった時や避難したときにも自分たちができることがたくさんあることに気付いた。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;"> <p>竹箸づくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身近な材料で、普段使っているものを作れるんだ。 </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; width: 45%;"> <p>牛乳パックを使ったホットドックづくり</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防災の時にも役立つね。 ・身近なもので簡単にホットドックをあたためることができた。 </div> </div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 10px; padding: 5px; margin-top: 10px; text-align: center;"> <p>夜の避難訓練 ※雨天により、中止</p> </div>

大切な命を守るために、
これまでに学習してきたことを身近な人たちに伝えたい！



これまでの学習を
生かす

<p>10月～</p> <p>炊き出し訓練 準備</p>	<p>調理グループ、食器作りグループ、防災クイズグループ、伝えるグループの4つのグループに分かれ、準備を進めていった。</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p><u>簡易食器づくり</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時に避難所で使えるものはないだろうか。 ・スプーンは牛乳パック、皿は新聞紙で作ることができそうだね。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p><u>防災マップ作り</u></p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の方々にも適切な避難経路を知ってもらいたいなあ。 ・様々な地区の危険な場所を一枚の地図にまとめよう。 </div> </div>
<p>11月1日</p> <p>炊き出し訓練 (府中北小学校青空広場)</p>	<p>簡易机、いすの組み立て方の紹介</p> <p>手作り防災カルタ</p> <p>炊き出し訓練 (府中北小学校青空広場)</p> <p>防災かまどを使って炊き出し(雑炊づくり)</p> <p>調理手順の説明</p> <p>地域の方との交流</p>	

生かす

2020/3/2 (中止)	防災フェスタ	1年間を通して学んできたことの集大成（臨時休業のため中止）  土砂災害が起きる仕組みの模型  地域の防災マップ  防災カルタ  避難時の服装のポイント
------------------	--------	---

3) 9月研修会の学びの中から自校の実践に活かしたこと。研修会を受けての自校の活動の変更・改善点。昨年度まで（助成金・研修受講前）と今年度の実践で変わった点。助成金の活用で可能になったこと。

学校の中だけではなくいつでも使える減災教育の実現

- 西日本を中心とした豪雨災害のみならず、これまで日本各地で起きた災害について調べる活動を通して、今後自分が異なる場所で異なる災害に遭ったときのことについて考える活動を行った。
- 減災教育研修で見学した写真・動画等を子ども達に見せて、想像させ、当事者意識を持った調べ学習となるようにした。
- 総合的な学習の時間のみならず、理科・社会科・国語科・家庭科・算数科などの教科と関連させた。
- 助成金で災害に関わる本を購入し、調べ学習に活用した。他学年にも防災意識を持ってもらうために図書室に特設コーナーを設けた。

4) 実践の成果

①減災(防災)教育活動・プログラムの改善の視点から

教科との関わりを重点的に

教科	単元名	内容
理科	流れる水のはたらき	川の水が氾濫する仕組みを学び、河川による災害から命を守るために、自分たちができることを考えることができた。
算数科	百分率とグラフ	円グラフ、帯グラフの正しいかき方を知り、それを活用して防災に関わるアンケートなどをまとめることができた。
社会科	国土の環境を守る	日本の自然災害についてグラフや表から数値を読み取り、日本は自然災害が起きやすい国土であるということに気付かせることができた。
国語科	資料を生かして考えたことを書こう	集めた資料を分析したり、分析結果から考えたことをまとめたりして、説明文を書いた。また、人に伝えるために必要な資料を作成することができた。

②児童生徒にとって具体的にどのような学び(変容)があり、どのような力(資質・能力・態度)を身につけたか。

- これまで意欲を持って調べようとする姿はあったが、当事者意識を持っていない児童が多かった。災害についても、東日本大震災という名前を知っていてもどんな被害があり、その後どのように復興しているのかについて知らない児童が9割を占めていた。



災害についての調べ学習を行う。
減災教育で視察した際の写真・動画を見て、その様子を想像する。

- 災害はいつ・どこで起きるかが予測できず、そのため大きな被害が出ていることに気付くことができた。
- 地域の災害を想定する中で、避難する時間に着目して考えることができた。季節や時間によって、避難の仕方や必要な物も違うことに気付くことができた。
- 得た知識を関連付けながら、自分の考えを話すことができた。
- 11月の活動の振り返りを次の課題発見につなげることができ、主体的に取り組むことができた。

③教師や保護者、地域、関係機関等(児童生徒以外)の視点から

- ・課題設定当初は、地震や土砂災害の話や資料を見ても、自分事として捉えられている児童が少ないように感じたが、防災教室や防災講座を通して、広島県で土砂災害が起りやすいという実情を知ったり、実際に防災マップを作成したり、非常用持ち出し袋の中身を考えたりする活動を通して、徐々に意識が変化している様子が見られた。
- ・炊き出し訓練では、共助を意識して、自分から進んで地域の方々と関わっていかうとする姿が見られた。また、活動を通して、様々な成果や反省点を見つけ、それを3月に行う防災フェスタへ生かしたいという意欲的な姿が見られた。
- ・防災フェスタの準備では、地域の大人から子供までどの人にも分かりやすい内容にしようと考え、具体物や模型、パネル、体験コーナー等を設置する計画を立てるなど創意工夫を凝らして準備する姿が見られた。

5) 工夫した点、実践の特徴・特筆すべき点

自助 共助 公助 +N助

炊き出し訓練では特に**共助**を意識した取り組みを行った。

保護者、地域の方参加型の取り組みをすることができた。

2) に記しているように、各グループに分かれて地域の方と一緒に防災について考える活動を行った。

6) 実践から得られた教訓や課題と次年度以降の実践の改善に向けた方策や展望

- ・カリキュラムに落とし込む点では、4月の段階ですべての教科との関連性を把握し、防災（減災）学習の視点を盛り込むことが必要であると考えた。来年度は、今年度の実践を4月に引き継ぎ、それを生かしたカリキュラムマネジメントを行っていく。
- ・5年生のみの活動にとどまらず、学校全体で防災学習に取り組む必要があると考えた。
⇒教職員全体が防災学習に取り組む意識を持てるような研修が必要である。
(過去の災害を知る。共有する。)

7) その他 (※特にあれば記述)

特になし